



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社
 コード番号 9776 URL <http://www.saturn.co.jp/>

上場取引所 東札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 荘司 晃久

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	13,179	2.7	751	37.4	774	34.8	515	37.9
29年3月期第3四半期	12,835	2.2	547	22.6	574	20.6	373	17.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 517百万円 (27.2%) 29年3月期第3四半期 407百万円 (9.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	148.17	
29年3月期第3四半期	107.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,746	7,467	69.5	2,146.07
29年3月期	9,727	6,983	71.8	2,007.21

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,467百万円 29年3月期 6,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,695	3.8	751	2.6	778	3.1	522	1.8	150.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	4,216,000 株	29年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	736,583 株	29年3月期	736,583 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	3,479,417 株	29年3月期3Q	3,479,450 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融政策を背景に緩やかな回復基調で推移し、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られます。一方で、近隣国との緊張が増す中、米国の政策動向に伴う影響や、アジア新興国経済の成長鈍化の懸念、並びにヨーロッパ地域における地政学的リスクや政策に関する不確実性等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、住宅建設は減少しているものの、民間の設備投資や公共投資の増加、新幹線の開業等による来道者数の増加等により、緩やかな回復基調が続いております。

医療業界におきましては、医療費抑制政策が強化される中、社会的要請に対応するため、厳しい環境変化への対応が求められており、引き続き各企業は、より一層の経営の効率化及び合理化が求められております。

このような状況のもと、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、継続的な企業価値の向上を実現すべく、各事業において新規顧客の獲得や新規調剤薬局店舗の開局、サービス品質の向上に努めると共に、引き続き経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高13,179百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益751百万円（同37.4%増）、経常利益774百万円（同34.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益515百万円（同37.9%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、前期及び当期に獲得した新規顧客との取引が順調に推移し、設備への投資計画を一部繰延べしたことから、売上高4,293百万円（同3.5%増）、セグメント利益229百万円（同77.2%増）と前年同期を大きく上回りました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、調剤薬局を新規に1店舗開局し、前期に開局した店舗及び既存の店舗が堅調に推移したに加え、設備投資計画を一部繰延べしたことから、売上高8,239百万円（同4.2%増）、セグメント利益767百万円（同12.7%増）と前年同期を上回りました。

③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、大型備品の販売が前年同期を下回ったことから、売上高591百万円（同17.5%減）、セグメント損失0百万円（前年同期はセグメント利益2百万円）と前年同期を下回りました。

④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高54百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益37百万円（同4.9%減）になりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ997百万円増加（前連結会計年度末比15.1%増）いたしました。これは主に現金及び預金が749百万円、商品が177百万円、受取手形及び売掛金が89百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は3,138百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加（同0.7%増）いたしました。これは主に工具、器具及び備品が61百万円、差入保証金が11百万円それぞれ減少しましたが、建物及び構築物が19百万円、建設仮勘定が73百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は10,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,019百万円増加（同10.5%増）いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ525百万円増加（同21.1%増）いたしました。これは主に賞与引当金が87百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が407百万円、未払法人税等が50百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は265百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加（同4.1%増）いたしました。これは主に長期未払金が7百万円減少しましたが、リース債務が11百万円、役員退職慰労引当金が5百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,279百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円増加（同19.5%増）いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ483百万円増加(同6.9%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益515百万円及び剰余金の配当34百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.5%となり、前連結会計年度末比2.3ポイント下回りました。

また、1株当たり純資産は2,146円07銭となり、前連結会計年度末比138円86銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成28年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,134,643	3,884,153
受取手形及び売掛金	2,724,915	2,814,275
商品及び製品	523,443	701,292
仕掛品	14,493	7,915
原材料及び貯蔵品	54,920	71,875
繰延税金資産	74,785	74,866
その他	117,879	86,536
貸倒引当金	△33,772	△32,295
流動資産合計	6,611,308	7,608,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,050,819	2,059,355
減価償却累計額	△1,292,248	△1,281,558
建物及び構築物(純額)	758,570	777,796
機械装置及び運搬具	39,193	36,673
減価償却累計額	△33,068	△32,678
機械装置及び運搬具(純額)	6,125	3,995
工具、器具及び備品	2,708,758	2,709,200
減価償却累計額	△2,221,387	△2,283,332
工具、器具及び備品(純額)	487,371	425,867
土地	1,061,696	1,052,372
リース資産	66,459	75,319
減価償却累計額	△36,943	△36,321
リース資産(純額)	29,516	38,997
建設仮勘定	500	74,320
有形固定資産合計	2,343,780	2,373,349
無形固定資産		
その他	97,746	88,699
無形固定資産合計	97,746	88,699
投資その他の資産		
投資有価証券	137,194	142,117
長期貸付金	3,497	—
長期前払費用	29,412	33,144
差入保証金	259,213	247,391
繰延税金資産	130,933	128,453
その他	133,547	142,081
貸倒引当金	△18,858	△17,071
投資その他の資産合計	674,940	676,117
固定資産合計	3,116,467	3,138,166
資産合計	9,727,775	10,746,788

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,040,961	2,448,692
短期借入金	13,316	—
リース債務	12,217	11,634
未払法人税等	102,982	153,784
賞与引当金	115,357	27,396
未払金	73,758	80,298
資産除去債務	—	2,900
その他	129,859	289,194
流動負債合計	2,488,453	3,013,901
固定負債		
リース債務	20,708	31,879
役員退職慰労引当金	60,674	66,298
退職給付に係る負債	18,515	19,547
長期未払金	148,570	141,143
資産除去債務	2,000	2,000
その他	4,930	4,930
固定負債合計	255,400	265,800
負債合計	2,743,853	3,279,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	5,459,411	5,940,175
自己株式	△504,653	△504,653
株主資本合計	6,953,377	7,434,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,543	32,945
その他の包括利益累計額合計	30,543	32,945
純資産合計	6,983,921	7,467,086
負債純資産合計	9,727,775	10,746,788

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,835,292	13,179,768
売上原価	9,005,250	9,115,426
売上総利益	3,830,042	4,064,341
販売費及び一般管理費	3,283,028	3,312,510
営業利益	547,013	751,831
営業外収益		
受取利息	703	531
受取配当金	5,222	2,958
受取賃貸料	35,793	34,097
その他	25,909	19,940
営業外収益合計	67,628	57,527
営業外費用		
支払利息	1,180	1,141
賃貸収入原価	36,667	32,896
その他	2,296	686
営業外費用合計	40,144	34,723
経常利益	574,497	774,635
特別利益		
固定資産売却益	498	1,233
特別利益合計	498	1,233
特別損失		
固定資産売却損	22	—
固定資産除却損	3,007	581
減損損失	—	1,737
特別損失合計	3,029	2,318
税金等調整前四半期純利益	571,966	773,549
法人税等	198,035	257,991
四半期純利益	373,931	515,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	373,931	515,558

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	373,931	515,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33,164	2,401
その他の包括利益合計	33,164	2,401
四半期包括利益	407,096	517,959
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	407,096	517,959
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,149,142	7,911,342	717,172	12,777,657	57,635	12,835,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	701,474	701,474	1,026	702,500
計	4,149,142	7,911,342	1,418,646	13,479,131	58,661	13,537,792
セグメント利益	129,680	681,456	2,727	813,865	39,959	853,824

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	813,865
「その他」の区分の利益	39,959
セグメント間取引消去	6,556
全社費用(注)	△313,366
四半期連結損益計算書の営業利益	547,013

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,293,391	8,239,930	591,799	13,125,121	54,646	13,179,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	468,238	468,238	883	469,122
計	4,293,391	8,239,930	1,060,038	13,593,360	55,530	13,648,890
セグメント利益又は損失 (△)	229,761	767,713	△896	996,578	37,982	1,034,560

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	996,578
「その他」の区分の利益	37,982
セグメント間取引消去	13,361
全社費用(注)	△296,091
四半期連結損益計算書の営業利益	751,831

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、取締役会で決議された来期移転店舗の移設不能資産を平成30年3月末の見積帳簿価額にて算定し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,737千円であります。